



▲曹源和尚揮毫の扁額



▲併催された東園寺所蔵展



▲灯明が供えられた境内



▲法要

慈恩志香語
五十僧房列四傍
碧雨深處屬中央
無緣靜坐禪心起
不用工夫世事忘
一枕清風夢魂冷
半窓明月逸情長
花園麟徳法皇殿
地接名庭在北方
道彦九拜

曹源祖水和尚生誕300年記念法要

10月5日、東園寺中興開山曹源祖水和尚
生誕300年の記念法要が厳修されました。

300歳の

誕生日に因み境内には300本の
ロウソクの灯りが点され、秋の虫
が妙声を奏でる幽玄な雰囲気の中、
瑞巖寺起雲軒老師の導師のもと厳
肅に法要が営まれました。

また12月には松島円通院様より
同院所蔵曹源和尚揮毫の木製扁額
を寄贈して頂き、曹源和尚生誕
300年の慶事に華を添えていた
だきました。



▲曹源和尚

「月心」の扁額の由来

この額は瑞巖寺塔頭寺院月心庵の寺号額として揮毫されたものと思われる。月心庵は松島愛宕山中腹に円通院6世白翁祖丁禪師が開いた庵である。曹源和尚の署名に前妙心現陽徳と確認できることから、大本山妙心寺下山後から瑞巖寺住職就任までの極限られた時期に揮毫されたものであろう。曹源和尚が妙心寺に登り紫衣を賜ったのが宝暦9年（1759）で、同年9月14日には7代藩主重村公の命により瑞巖寺住職に就任するので、「前妙心現陽徳」の肩書きが成立するのは、この宝暦9年だけということになる。この推測によればこの扁額は曹源和尚58歳の壮年期の書ということになる。その後、月心庵が廃庵になったことにより、白翁和尚の住した円通院に納められたものであろう。



▲12月18日の成道会法要の際円通院和尚より堂山生庵に扁額が手渡された



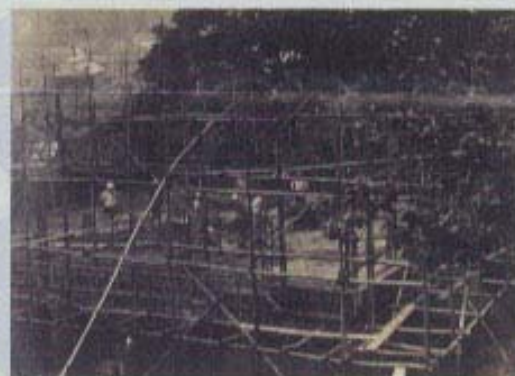
▲秀峰和尚37回忌

「月心」の扁額拝受の経過

作年月円通院先住明道和尚の7回忌の宿忌に参拝させて頂いた折、私は本堂に掲げられた扁額に気づいた。その古びた風情に魅せられた私はその扁額を凝視する。その署名を確認して驚きとともに何ともいえぬ喜びが私の心に沸き上がってきた。「前妙心現住陽徳曹源水書」まぎれも無く東園寺中興曹源和尚の筆跡ではないか！また何度も参拝させて頂いている円通院様の本堂に曹源和尚揮毫の扁額があったとは！曹源和尚生誕300年の年に初めて気づいたのは（吾が浅学を省みずに申し上げれば）法縁の不思議というより他無い。7回忌にお参りされている円通院先住和尚の親族の方によると先住和尚自慢の扁額であったとか。早速現住職に写真撮影の製作の許可を願うと、「あんださやつから。」の一言。冗談かと思いきや再度確認すると、「円通院にあるより、塔所である東園寺に置いた方が大切にされるだろうから」と全く夢のような有り難いお話しを頂戴する。「先住和尚自慢の扁額」聞いて聊か躊躇したもの、当山としては又と無い機会である。有り難くご好意を頂戴し、去る12月18日この「月心」額は曹源和尚の位牌の安置されている本堂内陣に飾られたのであった。末筆ながら大切な寺宝を当山に寄進してくださった円通院和尚に改めて感謝の意を表したい。

東園成也拝

秀峰和尚三十七回忌



秀峰和尚は明治33年1月1日黒川郡松和町の千坂家に生を受け、瑞巖寺松原盤龍老師のもとで出家、臨済宗専門学校（現在の花園大学）を経て昭和元年に東園寺住職に就任。實玄和尚の残した資金により昭和6年に、日本でも最初期である鉄筋コンクリート造の本堂を建立した。現在日本最古の鉄筋コンクリート本堂は大正四年建立の北海道函館の本願寺別院とされており、これが本山主導の建築であることを考えると、一地方寺院である当山が建立したこの本堂は、寺院建築史においては非常に貴重なものであることが実感できる。また今日椅子式の本堂は珍しくないが、実はこの本堂建立当初から椅子式となっていた。（昭和40年代収容人数の関係で一度畳敷きにされている。）「これからは正坐の時代じゃない。」という現代的な感覚であったそうだが、昭和6年という時代を思えば、秀峰和尚と当時の総代達の先見性は特筆すべきものであると言える。鉄筋、椅子席、地下納骨堂と現代寺院建築を先取りしたような本堂であるが、建立当初の評価はさして高いものではなかったようだ。この評価が一変したのが昭和19年の塩釜の空襲であった。尾島町を始め寺の周辺が焼け野原となる中で東園寺の本堂は見事に焼け残ったのである。

この70年余り昭和平成の激動の歴史を見守ってきた本堂も、大分傷みが目立つようになってきた。基礎は傾き、壁にはクラックと呼ばれる鉄筋コンクリート特有のひびが随所に見られる。鉄筋の耐用年数は60年と言われるから、一般的な概念から言えばもう役割を終えた建築物と言えるかもしれない。

前述の通りこの本堂は当時の斬新な発想と最新鋭の技術で建立された。それでは、現代の斬新な発想と最新鋭の技術とは如何なるものであろうか？21世紀における斬新な発想とは「ものを大切にすること」「ものを活かすこと」でなければならないと私は考える。また建築業者の方も公共事業の削減等の影響からか、補修技術を売りとするところも増えてきたようである。数年後にはこの本堂も大規模な修復を施すことになるが、皆さんからの助言も賜りながら万全の修復をおこない、後代に秀峰和尚の遺徳を伝えていきたいと考えている。（こんなことを書くのも募財の心配をされる檀信徒各位もおられると思いますが、補修資金の積立は既に行っており、檀信徒の負担無しに補修できる予定ですのでご安心下さい。）

本山団参



大木山妙心寺参拝記念 平成14年10月17日

▲大本山妙心寺織妙殿にて



▲千賀の浦を写したといわれる渉成園



▲春光院様にて



成道会



不動堂大祭

▲青年部によりとん汁、海老、牡蠣などが振舞われた



▲除夜の鐘



除夜の鐘

▲青年部によりおでん、甘酒、年越しそばが提供される

塩釜地区の葬儀

逝去から葬儀までの流れ

逝去

- ・葬儀社への連絡
- ・寺への連絡 枕経、葬儀日程の取り決め

枕経

- ・法要詳細について、寺との打ち合わせ
- ・入棺荘厳
- ・事務手続き、法事の準備

通夜（葬儀前日）

出棺火葬（葬儀当日）

葬儀

四十九日、百力日予修法要

納骨

- ・会食

現在東園寺で行う葬儀は概ね上記のような流れに基づいている。上記の順序に従いもう少し詳しく内容を検討しよう。



▲お釈迦様の涅槃
(当山所蔵涅槃図 小池曲江作)

葬儀を考える

枕経

医師の診断により死亡が確定したら、先ず葬儀社や寺に連絡をとり、枕経の時間を決める。枕経とは遺体を納棺する前におこなう法要で、葬送儀礼の最初の法要となる。平安

期に浄土教の先鞭を開いた天台宗僧侶に源信は今際の時の心境が安楽であれば、必ず死者は浄土へ赴くという信仰を持っており、この「臨終正念」という死に際の安楽の為に様々な葬送の儀礼を提案する。その中で、枕経の起源として見出されるのが、臨終を迎えそうなる者を阿弥陀像の前に寝かせ、阿弥陀様の手から死を迎えようとするものの手に5色の紐を渡し、仲間が皆で念仏を唱えながらあの世へと送るといふ行事である。枕経の起源は他にも諸説ある。日本の民衆信仰の立場から、これを「魂呼び」即ち、生き返りを念願しての宗教行事であると規定する学者も少なくない。何れにしても、逝去後なるべく早くこれを行った方が良い事はいふまでも無いが、通常は深夜を避け午前七時位から午後十時位の時間に行われることが多い。

通夜

地方によっては死の当日を通夜とするところもあるが、塩釜周辺では一般に葬儀の前日を通夜と呼ぶ。通夜とはお釈迦様が入滅されたとき、泣き叫ぶ弟子たちに対し、アヌルッダ長老が夜を徹して法要を説き、弟子や信者が修行の集いをもったことに由来していると考えられる。またこれを受けて日本では元来は故人の家族だけが遺体と共に祠堂にこもり死者に夜伽をおこなったとされる。最近は生活リズムの変化により、葬儀よりも通夜の方が、会葬者の多いことも少なくない。しかし会葬者が増えればそれだけ故人とは縁遠いものも増えるわけで、時には宴会のような状態に陥っている通夜も少なくない。死者無視の宴会の如き通夜は、当に現代の生命軽視の元凶であるとは言えまいか？

(つづく)





幼稚園だより

塩釜中央幼稚園
塩釜第二中央幼稚園



●大運動会●



●大運動会●



●芋掘り遠足●



●芋掘り遠足●



●クロネコヤマト
交通安全教室●



●消防ふれあい広場●



● 成道会お遊戯会 ●



● 成道会お遊戯会 ●



● もちつき ●



● もちつき ●



● お茶のお稽古 ●



● お店やさんごっこ ●



● 節分まめまき ●



● 涅槃会 ●

伝えよう命の尊さ

※納骨供養料3000円より

※犬猫などのペットは所定の施設で火葬した後、当山に持参してください。

新規墓地募集

※本堂裏に新しく墓地が設けられます。

参道完成

昨年4月より工事をおこなっていた労働金庫跡地の参道整備が昨年11月植栽作業終了により完成しました。現在は幼稚園バス発着場として使用されています。また工事終了に際し京都庭師植音様から石仏を寄進して頂きました。



釈子塔

釈子塔は様々な事情から墓地を持たない方の為の供養塔です。釈子とはお釈迦様の子供一仏弟子という意味です。釈子塔は合祀制の墓地ですが、当然ながら当山から戒名を与えられた方のみが埋葬されますので、他人であっても等しくお釈迦様の弟子として永眠することとなります。

特長

※また釈子塔は現住成也和尚以降の歴代住職及び寺族の供養塔も兼ねているので、寺が存在する以上は必ず護持される。

※逝去後の維持費が不要。(但し故人に配偶者や親族等が居られ、会報や供養の案内が必要な場合は維持費5,000円を頂戴致します。)

※墓地永代使用料や墓地を造る費用がかからない。

※納骨供養料 100,000円
(会員登録済みの方 年会費5,000円)
150,000円 (会員未登録の方)

※希望者には授戒を行い、生前に法名を授与致します。但し授戒とは仏教者として生活することをお釈迦様にお誓いする儀式ですので、それなりの覚悟を決めてからお申し込みください。



お釈迦様誕生祝い

花祭り夕



大人 3,000円
学生 (幼稚園児も含む) 1,000円

法話、クイズ大会やくじ引き等
もりだくさん。どなたでも
参加できます。

坐禅会

どなたでも気軽にご参加下さい。
前屈な服装ですと坐禅の呼吸法に支障を来す場合
がございますので楽な服装で参加して下さい。

- 毎週木曜日 夜7時30分 於 ザ・ゼン クラブ
利府町加瀬字野中沢 TEL.356-2933
- 毎週日曜日 朝7時 於 東園寺本堂
所要時間40分 坐禅 15分×2回 体操 10分程度

THE ZEN CLUB 会員募集

- ウエイトトレーニング 運動不足解消 各種
スポーツの補強トレーニング
利府町加瀬字野中沢90-1 TEL.356-2933
※東園寺檀信徒 中央幼稚園 第二中央幼稚園保護者割引有り

宗教法人 東園寺
学校法人 東園寺学園

代表役員 千坂 成也
理事長 千坂 秀也
花園会・会長 阿部 久壽

〒985-0026 塩釜市旭町4-1

〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51

022 (362) 0777 寺務所 022 (364) 4444 FAX
022 (362) 8651 中央幼稚園 022 (356) 2933 ザ・ゼン
022 (365) 5616 第二中央幼稚園 クラブ